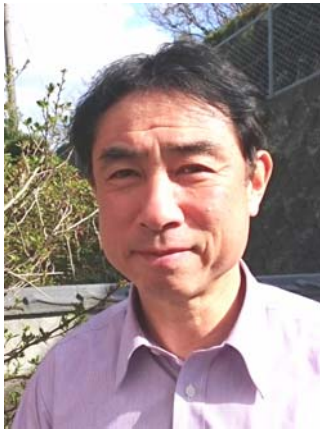


のいっちゃん便り

野入 仁は、友人から“のいっちゃん”と呼ばれております



こんにちは！3月になりました。と言っても、もう中旬です。だいぶ暖かくなりましたね。下旬には桜が満開になるそうですよ。3月といえば、新しいことが始まる季節です。日も長くなり、フレッシュな気持ちで仕事や遊びに取り組みたいですね！

◆生月島に行きました！

生月島をご存知でしょうか？平戸島の北西部にある人口7,200人程の島です。島といっても平成3年に橋が架かったので平戸を經由して車で行けるようになりました。この島は西側のロケーションが素晴らしく、西海岸沿いの通称「サンセットウェイ」は日本一車のCMに使われる道路だそうです。最近では、菅田将暉さん、中条あやみさんが出演するカローラスポーツのCMにも登場しています。

(右のQRコードをスマホのバーコードリーダーで読み込むと見れますよ！)



で、私の高校（佐世保西）の同級生に生月島出身の近藤芳人君という人物がいます。彼は現在、平戸市の市議会議員をしていて、しばらく会ってはいなかったのですが、Facebookではつながっておりました。ある日、彼の投稿に魚のことでコメントしているうちに、生月島の主産業である漁業の振興や、魚に付加価値を付ける方法についての話となりました。現在、魚はキロあたりの値段で取引されることが多いのですが、これだと魚を沢山とらないと収益を上げ

ココです！



ることが出来ません。しかも、いつも沢山とれるとは限りませ

ん。また、相場が下がって安くなることもあります。“一山いくら”から“一匹いくら”になれば沢山とらなくても収益を上げられるし資源保護にもなります。近藤君は生月島の^{たちうら}館浦漁協の役員でもあるのですが、魚に付加価値を付ける方法として、“究極の血抜き”を施して熟成と長期保存が可能な魚の出荷を考えてみてはどうかと提案したのです。彼は私が魚の血抜きや熟成をやっているFacebookの投稿を見ていて、すごく興味があると伝えてくれたので、軽い気持ちで「よかつたら実演しに行こうか？」と言ったところ、話がトントン拍子に進み2/16に館浦漁協の施設で実演会を行うことになったのです。そのついでにせっかくなので佐世保から高校の同級生を呼んで前日の夜に宴会をしようということになりました。彼の呼びかけに佐世保から4人の同級生が来てくれることになりました。そして、2/15の夕方“平戸瀬戸市場”で近藤君と待ち合わせし、ブリを買って生月島へ向かいました。生月島に着いて漁協の事務所に挨拶に行き、実演会場の下見と打ち合



ヒラメは館浦漁協からいただきました。

わせをしていると、大きな水槽に案内され、漁協の常務理事から立派な活ヒラメを頂きました！近藤君の自宅（築100年以上の古民家でメチャ広い）に着くと早速料理に取り掛かりブリ、ヒラメ、ヨコワ、クロを捌いて、刺身の盛り合わせやヒラメの薄造り、ブリの漬け、魚の胃の酢モツ、アラ汁など豪華活魚料理で宴会をしたのでした。40年の時を経てみんな見た目は変わりましたが高校時代と変わらず話が出来て楽しい時間を過ごせました。



左から近藤君、宮副君夫妻 池田君 千住君

翌朝は、実演に使う魚を選ぶために館浦漁協の定置網漁に同行させてもらうことになっていて、二日酔い気味でしたが朝6時に定置網船の乗組員の皆さんと食堂で朝食をいただき漁に出発しました。この日はいい魚があまり網に入っておらず不漁でした。私も知らなかったのですが、この時期に生月ではサンマが獲れるのです。このサンマは脂が乗っていないので缶詰などの加工用にされるそうです。



サンマが沢山とれました。

漁から戻ってきて魚の荷捌き所ではいよいよ神経抜きと“究極の血抜き”の実演開始です。使う魚は、ブリ、ヒラメ、クロです。まず頭の急所を手カギで刺して絞めます。次にエラと腹腔の間の膜を1ヶ所包丁で刺します。その後シッポを切って切断面の背骨の上側の神経が通っている穴に細いノズルで水道の水を注入します。すると、ビクンと跳ねたあと頭の急所に開けた穴から白い神経がニョロニョロと出てきます。次は背骨の下側の穴です。ここには太い動脈が通っているので水圧で血を押し出します。最後にエラ膜に開けた穴から腹腔内にホースで水を注入すると大動脈から全身に水が行き渡り、魚体がパンパンに張ってきます。そしてシッポの切断面から血が抜けると完了です。血抜きしたあとは30分ほど逆さまに立てて水抜きます。最後に魚体の水分を良くふき取ったら、紙で巻いて真空パックし氷水に漬け込んで保存、熟成させます。ここまでの工程を、漁協の方々や平戸市の農林水産部長まで熱心に見学いただきました。



ヒラメの血抜きをしているところです。

◆終わりに・・・

やっと確定申告も終わって、納税を済ませました。来年からはスムーズにできるように日々経費の仕分けと記帳をしていこうと思いました。そして来年は、たくさん税金を払えるようにガンバります！

